



社会新報

(岡山県連合版) 定期大会特集号

2014年4月1日
(毎月1日発行)

社会民主党全国連合機関紙宣伝局(毎週水発行)
〒100-8909 東京都千代田区永田町1-8-1
TEL.03-3592-7515 1部180円/月 700円/年160

岡山市北区弓之町5-7 Tel.086-226-1234

発行責任者 武本恒夫

http://www.sdp.or.jp/okayama/index.html e-mail: sdp_okayama@helen.ocn.ne.jp

社会民主党岡山県連合 第12回定期大会



社会民主党岡山県連合は3月22日午後、岡山市北区の勤労者福祉センターで第12回定期大会を開催し、党員・支持者ら53名が参加した。開会あいさつで井上副代表は「3・11を風化させてはならない。再び戦争への道ではなく、平和国家に徹するため一人でも党員を増やす大会に」と述べ、大会議長に1区支部連合・久世代議員を選出した(報告「新報」地方記者:野崎)

挨拶をいただいた来賓(挨拶順)

- 社民党全国連合 中川・組織機関紙局長
- 新社会党岡山地本 足田委員長
- 民主党岡山県連 柚木代表 衆議院議員
- 国労岡山地本 後藤委員長
- 津山民主商工会 賣石会長

祝電・メッセージ

- 社民党広島県連合・社民党山口県連合
- 社民党島根県連合・社民党鳥取県連合
- 民主党岡山県連合代表 柚木道義 様
- 岡山県知事 伊原木隆太 様
- 倉敷市長 伊藤香織 様
- 津山市長 宮地昭範 様
- 岡山市長 大森雅夫 様

今立つ時、全党員の奮闘を！ 福島捷美県連合代表あいさつ

初めに党県連合を代表して福島代表は「安倍首相は自民党党是の自主憲法制定のため憲法96条改憲が失敗すると集団的自衛権の行使容認、武器輸出三原則の見直しなど、「戦争のできる国」にするため狂奔している。戦後、積み上げてきた平和の努力は簡単に崩れなくても一人ひとりの奮闘が大切だ。次の統一自治体選挙に全力を上げよう」と全党員・支持者に呼びかけた。

政治の右傾化の背景に 雇用・貧困・格差の矛盾

来賓の全国連合・中川組織機関紙局長は、「平和憲法の正念場となる。都知事選挙で

厳しいなかにも 党務報告も

党務報告で武本幹事

長は、今大会の意義と課題について①安倍政権の改憲策動と国民生活切捨ての対抗軸として社民党の存在を示す②党の再建・再生、自治体選挙に向けた意思統一と活動強化の2点を提起した。



再任された福島代表(左) 武本幹事長(右) 中央は新任幹事の宮原氏

何ができればよ どうすればできるか

情勢と方針の討論

党をめぐる厳しい情勢のなか、方針で組織活動と自治体

経済上向きと言うがアベノミクスの現実は一企業が一番活躍できる国づくりであり、1%の大企業・富裕の優遇と99%の層には、労働規制の緩和、社会保障切り下げなど「生命とくらし」の削減だ。しかし、ぶつけるところがない不満だけでなく、活動報告は、若い力など変化の芽も報告された。

消費税率改定で三種郵便引上げ「新報」1月刊社民は内部経費削減努力で代金据え置きます。4月18日(第3金)18時

議員の誕生が急務と提起した。討論では、高梁市議選の報告や「指導力不足等教員」として分限免職処分を裁判で勝利した戦いの中心に党員がいたこと、その力となったのが「事実がどうなっているか。そこに本当の姿、声があり、支持を上げる運動の原点」と発言(1区支部)があった。また「支部会議で自治体議員の議論もしてきた。現状は厳しいが、関係支部との協議・指導を強めてほしい」(5区支部)など、県連合の厳しい状況の中でも、何が出来るかよりどうすれば出来るか、社民党の存在を示すため、当面する統一自治体選挙に向けて全力で取り組む「活動方針」を決定した。

これを受け、全党員が結果しようとして「特別決議」が提案され、「早急に予定候補を決定し、今日から、今から、持てる総意を結集しよう」との決議案を採択した。役員選出では、新任幹事を加え、福島代表以下現体制を再任し、「日常活動を活発にし、地域、労組との関係を強めるとともに、自治体議員選挙勝利に全力を上げよう」という大会宣言を採択した。最後に福島代表の団結カンパニーで新たな出発を誓った。

議員の誕生が急務と提起した。討論では、高梁市議選の報告や「指導力不足等教員」として分限免職処分を裁判で勝利した戦いの中心に党員がいたこと、その力となったのが「事実がどうなっているか。そこに本当の姿、声があり、支持を上げる運動の原点」と発言(1区支部)があった。また「支部会議で自治体議員の議論もしてきた。現状は厳しいが、関係支部との協議・指導を強めてほしい」(5区支部)など、県連合の厳しい状況の中でも、何が出来るかよりどうすれば出来るか、社民党の存在を示すため、当面する統一自治体選挙に向けて全力で取り組む「活動方針」を決定した。

議員の誕生が急務と提起した。討論では、高梁市議選の報告や「指導力不足等教員」として分限免職処分を裁判で勝利した戦いの中心に党員がいたこと、その力となったのが「事実がどうなっているか。そこに本当の姿、声があり、支持を上げる運動の原点」と発言(1区支部)があった。また「支部会議で自治体議員の議論もしてきた。現状は厳しいが、関係支部との協議・指導を強めてほしい」(5区支部)など、県連合の厳しい状況の中でも、何が出来るかよりどうすれば出来るか、社民党の存在を示すため、当面する統一自治体選挙に向けて全力で取り組む「活動方針」を決定した。

「新報」読者会 4月8日(第2火) 18時 弓之町「時事問題懇話会」 4月18日(第3金) 18時 ※いずれも党県連合会議室

当面する諸活動 4月22日(第4火) 18時 1.2区党員会議(定例) 4月23日(水) 17:30 党街宣行動 岡山駅前 4月23日(水) 18:30 おかやま労安センター 総会 講演「アスベスト裁判」

当面する諸活動 4月22日(第4火) 18時 1.2区党員会議(定例) 4月23日(水) 17:30 党街宣行動 岡山駅前 4月23日(水) 18:30 おかやま労安センター 総会 講演「アスベスト裁判」

当面する諸活動 4月22日(第4火) 18時 1.2区党員会議(定例) 4月23日(水) 17:30 党街宣行動 岡山駅前 4月23日(水) 18:30 おかやま労安センター 総会 講演「アスベスト裁判」

当面する諸活動 4月22日(第4火) 18時 1.2区党員会議(定例) 4月23日(水) 17:30 党街宣行動 岡山駅前 4月23日(水) 18:30 おかやま労安センター 総会 講演「アスベスト裁判」